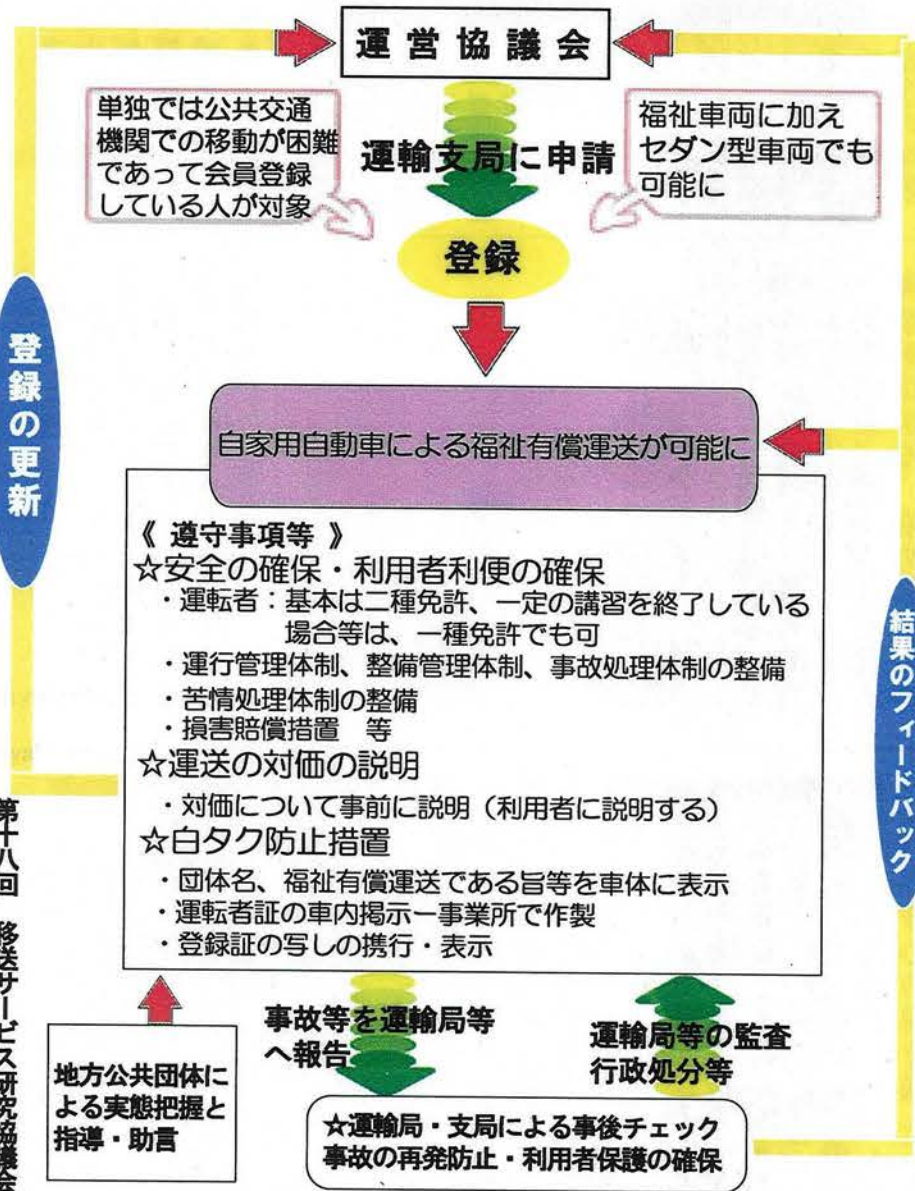




福祉有償運送の新たな仕組みについて ～H18.10に道路運送法の一部改正予定～

第18回 移送サービス 研究協議会 開催



三月五日（日）東京ボランティア・市民活動センターと東京ハンディキャップ連絡会の主催による、第十八回移送サービス研究協議会が開催されました。

東京飯田橋のセントラルプラザで開催され、全国から百数十名が参加しており、「さわやか」から山田と高原が参加しました。

道路運送法改正による福祉有償運送の展望」と題して、国土交通省自動車交通局旅客課 中村浩一氏から話がありました。

今年十月の道路運送法の一部改正に伴い、「福祉有償運送」の新たな仕組みについて説明がありました。（左上図参照）これまでの福祉車両に加え、セダン型車両でも送迎が可能になります。

また、遵守事項等も以前よりはきびしくなり、特に運転者に対しては、以前受けていただいた講習よりも、より専門的な講習を受けなくてはなりません。

いずれにしても、全ては、利用者の安全・安心の為です。

その後、全体会で、「これからの移送・移動サービスはだれのため？何のため？」と題してシンポジウム形式で活発な意見交換がおこなわれ、午後五時に散会しました。

大が女房殿とのコミュニケーションの代わりの役目となっています。若い頃は海釣りに興じていましたが、今は息子と鮎釣りを楽しんでいきます。

年齢六十三、活動も動から静への変化を感じる今日この頃です。厳冬の今期、外仕事が大半で辛いこともありすが、働くことが傍を樂にし、地域、社会に貢献しているという自負心と使命感を持って皆様の役に立てるように、仕事に又、理事の役目を全うしてゆく覚悟です。皆様方のご指導とご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

新理事ご紹介



天神クリニック 幹事
 田村 昌弘氏

通院介護センター「さわやか」理事就任にあたり

この度、関係者の承認を得、理事に就任させていただきました。山田理事長よりお電話を頂いた時は勤務が二交替で、タイムリーな活動ができないと思ひ躊躇

願ひ申し上げます。

お知らせ

「さわやか」の山田 勲理事が、一身上の都合により平成十七年十月十五日付けをもって辞任されました。

平成十八年二月五日の臨時総会において承認されました。

王子病院腎友会 勉強会で「さわやか」の現況を説明

三月十日(日)午前十時より、王子病院シビリセンターの第一階リハビリ室において、医療法人財団はま

ゆう会王子病院腎友会の学習会がありました。会員、家族スタッフ合わせて九十五名の参加がありました。

その中で四月からの「福祉有償運送」についての話を聞かせてほしいと岩崎会長から依頼があり「さわやか」の山田浩美理事長が参加しました。二十分の限られた時間の中で現在までの経緯と、今後の利用者さんとボランティアさんの手続きのしくみを話しました。参加されていた、患者様やご家族・スタッフは熱心に聞かれています。まだ明快的話ができないだけに今後の「さわやか」の行方について困惑な表情も見受け

られました。「さわやか」に期待されている方、ボランティアの方の事に事務局も何とか答えられるような体制を一日も早くとらなければなりません。



三月二十日午前十時五十三分、去年福岡を襲った地震の時間です。

同じ時間、窓から外を見る、青空が広がり、春の日差しがやわらかく差し込んでいます。仮設住宅に住むことを余儀なくされている被災された方は、どのような気持ちで向かえたのだろうか、二度と地震が来ないよう祈るとともに自分自身の防災意識を新たに自覚したいと思えます。



ちょっと気になる映画

子ぎつねへしん



今、映画館で、子ぎつねへしんが上映されています。春の北海道で東京からやってきた、母親が仕事に追われ、いつも一人ぼっち少年と、目と耳が不自由な子ぎつねとの物語です。

「切ない運命を背負いながらも与えられた命を生き抜く子ぎつね、母親を恋しく思いながらも涙を見せないけなげな少年。医師として、親としての行き方を模索する獣医・・・彼らが結び合う心の絆を通して家族の再生と生きることの素晴らしさを描いています。

原作は、キタキツネの生態調査の第一人者で、傷ついた野生動物の保護・治療・リハビリに取り組み、写真家・エッセイストとしても活躍している竹田津実の「子ぎつねへしん」がのこしたものの「(偕成社刊)。やさしさに満ちたほのぼのとした日々が綴られています。このベストセラーの実話のもとに創られています。」(インターネットより)解説を読んでいるだけで胸が熱くなる思いです。

是非、映画館へ足を運んでみては、いかがでしょうか。

キタキツネの生態

分類

食肉目イヌ科キツネ属

学名

Vulpes vulpes schrencki

分布

日本の北海道、千島列島南部、サハリン

家族

2月上旬から3月中旬に交尾期を迎え、約52日間の妊娠期間を経て3月下旬から4月中旬にかけて巣穴で平均3~5匹の子を産む。

子育てはととても献身的で、初秋に子別れの時期を迎えるまでは仲良く一緒に暮らす。とりわけ特徴的なのは、父親が育児に参加すること。他の哺乳類の家族は皆、母子家庭であり、日本に生息する哺乳類で家庭の中に父親がいるのは、「キツネ」「タヌキ」そして「ヒト」の3種類のみである。



体長&体重

体長は60~80cm。
しっぽの長さは30~50cmくらいある。
体が細く、しっぽは太い。
体重は平均5~10kg。

体毛

赤褐色で、腹から胸がふさふさで長いしっぽの先は白。